

第3期大刀洗まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

1. 方針

(1) 取組みの概要

町の人口ビジョンを踏まえ、将来にわたって活力ある地域を維持するため、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保、町民が豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成及び魅力ある多様な就業機会の創出を一体的に推進するための計画として策定します。

- ⇒ 第2期をもとにリニューアルする。新たに総合戦略検討会を発足させ、当該検討会を中心にして素案を作成する。
- ⇒ KPI の追加・変更(基本的目標と個別事業)する。
- ⇒ 施策の継続・廃止・追加する。
- ⇒ 国のデジタル田園都市国家構想を勘案し検討を進める。

(2) 検討体制

① 総合戦略検討会(8月～11月で各WGを3回開催)

移住経験者や子育て世帯などの町民や事業者、若い世代の大学生と職員(関係課職員・希望職員)で構成。(検討委員:外部12名、職員18名)5つの基本目標ごとにグループに分かれ検討を進めた。

第1期・第2期の間の町の変化や現状を踏まえ、活力ある地域を維持するため、5つの基本目標ごとに、基本目標や基本的方向、個別事業の見直しを行い、素案作成を行う。

② 総合戦略策定委員会(12月開催)

全庁的横断的に取り組むため、副町長を中心とし各所属長で構成された委員会。検討会を中心に作成した総合戦略素案を協議する。

③ 総合戦略審議会

本審議会を指し、検討会、策定委員会を経た素案の審議、策定審議を行う。

(第1回審議会資料3「第3期大刀洗町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る方針より」一部再掲)

2. 主な変更点

(1) 基本的方向の整理

移住定住の分野、魅力発信の分野において基本的方向を 3 ⇒ 2 へ変更。

(2) 横断的視点の設定

第3期総合戦略より、新たに横断的視点「デジタル技術を活用したまちづくり」「多様な主体との連携・協働・参画の仕組みづくり」を設定。

(3) 個別事業の整理

①第2期総合戦略の個別事業として位置付けている事業を現状やこれからの展開を踏まえ削除等を行う。

②既存事業を新たに総合戦略の個別事業として位置付けを行う。

(4) 新規事業の掲載

各課において令和7年度に計画している新規事業を総合戦略の個別事業として位置付け。

※あくまで現時点では計画段階となり、3月議会での当初予算成立を受け、総合戦略の掲載が最終決定となる。

(5) KPI の見直し

審議会でいただいたご意見や6月に開催しましたタスクフォースの結果を踏まえ、KPIの見直しを実施。事業の効果を適切に評価、検証するために、事業の実情を鑑みながら、アウトカム指標を可能な限り設定。